

生方たつゑ（1904-2000）

1904年（明治37）に三重県宇治山田町（現伊勢市）に生まれました。日本女子大学を卒業後、1916年（大正15）年に沼田で古くから薬種商を営む生方家に嫁ぎました。旧家の嫁として大家族の世話を追われる中で短歌を志し、戦後の女流歌人の第一人者となりました。



1958年（昭和33）、歌集『白い風の中で』で第9回読売文学賞を受賞。「毎日新聞」、「婦人公論」、「週刊文春」歌壇の選者、歌人クラブの代表幹事を務めました。1980年（昭和55）勲四等宝冠章受章。『自分のやうに』で第14回昭和文化賞受賞。1989年（平成元）沼田市名誉市民に選ばれました。2000年（平成12）、逝去95歳。

生方記念文庫について

1986年（昭和61）10月、たつゑが病に倒れたため、長女美智子氏により生方記念文庫が開館されました。その後、1993年（平成5）



移築前の生方記念文庫

6月、たつゑの意志により沼田市へ寄贈されました。2014年（平成26）7月に、沼田市の中心街区画整理事業により、現在地へ新築移転しました。



現在の生方記念文庫

沼田公園にあるたつゑゆかりの建造物を訪ねて

国重要文化財 旧生方家住宅（上之町から移築）

生方家は、沼田藩の薬種御用達を務めた商家でした。たつゑはこの家に嫁いで来ました。



沼田公園にあるたつゑの歌碑



生方記念資料館

たつゑの夫誠の収集した資料を展示するため、たつゑが資料と共に建設費を市に寄贈しました。



冬やまの
瘦せたる髪に
おきわたす
寝雪の光
厳しこのくに
たつゑ

ご利用案内

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

休館日 水曜日、祝日の翌日、年末年始

観覧料 個人110円（20名以上の団体料金60円）

中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名は無料

駐車場 旧沼田貯蓄銀行駐車場4台、街なか天狗プラザ駐車場（大型2台、普通車17台）

アクセス 沼田駅（JR上越線）下車、1番バスのりば鎌田・戸倉方面（関越交通バス）約6分上之町下車
関越自動車道沼田ICより車で約10分



〒378-0047 群馬県沼田市上之町199番地1

TEL & FAX 0278-22-3110



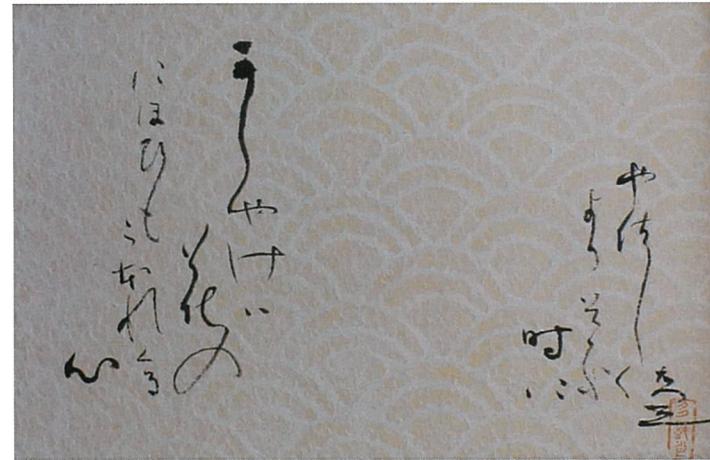
生方記念文庫

Ubukata Memorial Athenaeum

生方記念文庫は、
歌人で沼田市名誉市民の
生方たつゑの著書を中心とした
詩歌関係書と
たつゑ作品を展示しています。
建築家・岸和郎氏による
群馬県内産の杉を活かした
建築の中で、
木の温もりを感じながら作品を
鑑賞していただけます。
ぜひ、癒しの空間でひとときを
お過ごしください。

1階エントランスホール
Yチェアがお出迎え。

階段
木の香りが漂ってきます。

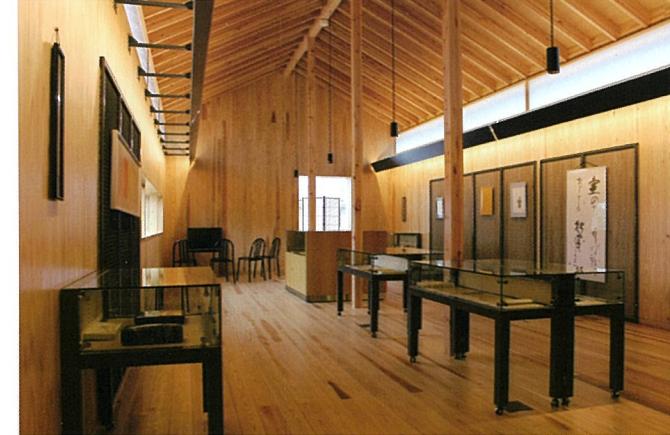


かがやけば花のにほひもこぼれくる
心やさしく寄り添う時に たつゑ

(訳) 幸せにひたっている日、人はかがやくような花を近づけているにちがいありません。ふと気がつくと、この安らぎの中へどこからともなく、花のやさしい匂いさえ漂ってまいります。こちらがかがやけば、花もかがやきます。私はやさしく花のいのちに寄り添うように、今生きている充実感にひたります。

図書について

当文庫には、たつゑの著書を始め著名な歌集・歌書の他に、たつゑの夫で沼田町長・県議会議員・国家公安委員などを務めた生方誠の薬学や演劇関係の洋書。誠の父弥右衛門が収集した和漢書の中には、「解体新書」、「道中膝栗毛」「北斎漫画」など貴重なものがあります。その他一般書なども含め 14,000 点以上を所蔵しています。その図書の中から、著名な歌集・歌書を中心に、2 階の展示室、1 階の管理室、1 階のインフォメーションスペースに展示しています。



2階常設・企画展示室
たつゑの短歌の世界に
触れていただけます。



2階常設展示室
たつゑの蔵書に
囲まれた展示室。

